

2022 年度

地盤品質判定士の検定試験

受験の手引き

※2021 年度より受験要件を大幅に拡大しました。赤字箇所をよくご確認ください。



地盤品質判定士協議会

※最新版であることを協議会のウェブサイト(<https://jiban-jage.jp/>)でご確認下さい。

(2022. 5. 19 版)

<目 次>

1. はじめに	1
2. 検定試験のスケジュール	3
3. 受験資格と受験区分	4
4. 受験申込みの手続き	8
5. 検定試験の内容	10
6. 試験当日の留意事項	11
7. 検定試験の日時と受験地	12
8. 合格者の発表	12
9. 地盤品質判定士もしくは地盤品質判定士補の登録手続き	13
10. 登録更新	14
11. その他	15

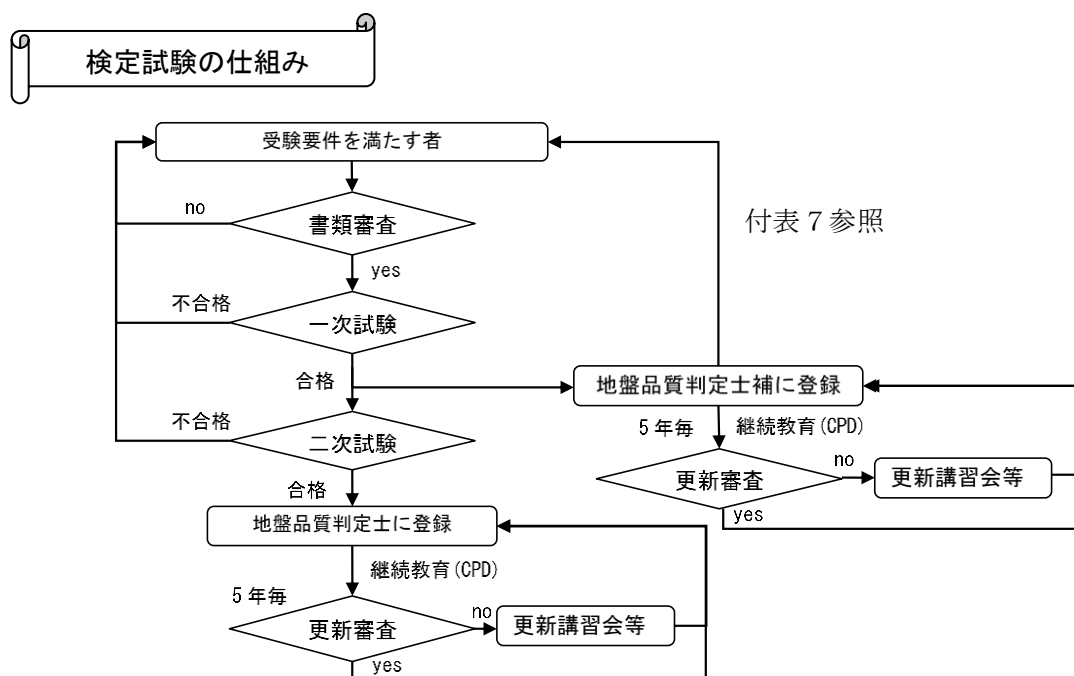
1. はじめに

地盤品質判定士協議会は、2011年春の東日本大震災をはじめ、これまでの地震によって発生した住宅や宅地の被害を教訓として、公益社団法人地盤工学会を代表に、一般社団法人日本建築学会・一般社団法人全国地質調査業協会連合会が発起人となり、住宅や宅地に関係する7団体の参画によって2013年2月に発足しました。本協議会では、建築学・土木工学分野や不動産・住宅関連産業等に従事する地盤技術者を対象に、地盤品質判定士の資格制度を創設しました。

この地盤品質判定士の資格制度の目的は、宅地の造成業者、不動産業者、住宅メーカー等と住宅及び宅地取得者の間に立ち、地盤の評価（品質の判定）に関わる調査・試験の立案、調査結果に基づく適切な評価と対策工の提案等を行う能力を有する技術者を社会的に明示することにあります。

この資格制度では、「地盤品質判定士」と「地盤品質判定士補」を設けています。前者は、「地盤の評価（品質の判定）ができる専門的な知識と十分な経験及び高度な技術力を有する者」、後者は「地盤の評価（品質の判定）に必要となる基礎的な知識と経験を有する者」で、検定試験によって認定します。検定試験は、技術者倫理、宅地の造成、土砂災害に関わる法制度、地質・地形・地盤の調査、土砂災害、住宅等（小規模建築物）の基礎、地盤の液状化、盛土・切土と擁壁の安定性、基礎の沈下や傾斜、及び地盤改良といった多岐にわたる基礎的な知識と地盤の評価（品質の判定）に関わる経験及び技術力を確認するものです。

検定試験に合格して登録した者には、「地盤品質判定士」あるいは「地盤品質判定士補」の資格が付与されます。この資格者は、地盤の評価（品質の判定）ができる専門的な知識と経験及び技術力によって、住宅及び宅地の防災・減災を通じて国民の住環境の安全性向上に寄与することが期待されています。なお、資格保有者には、知識及び技術力の維持向上を図るために継続研鑽が要求され、5年毎に更新審査を受けることが必要とされています。



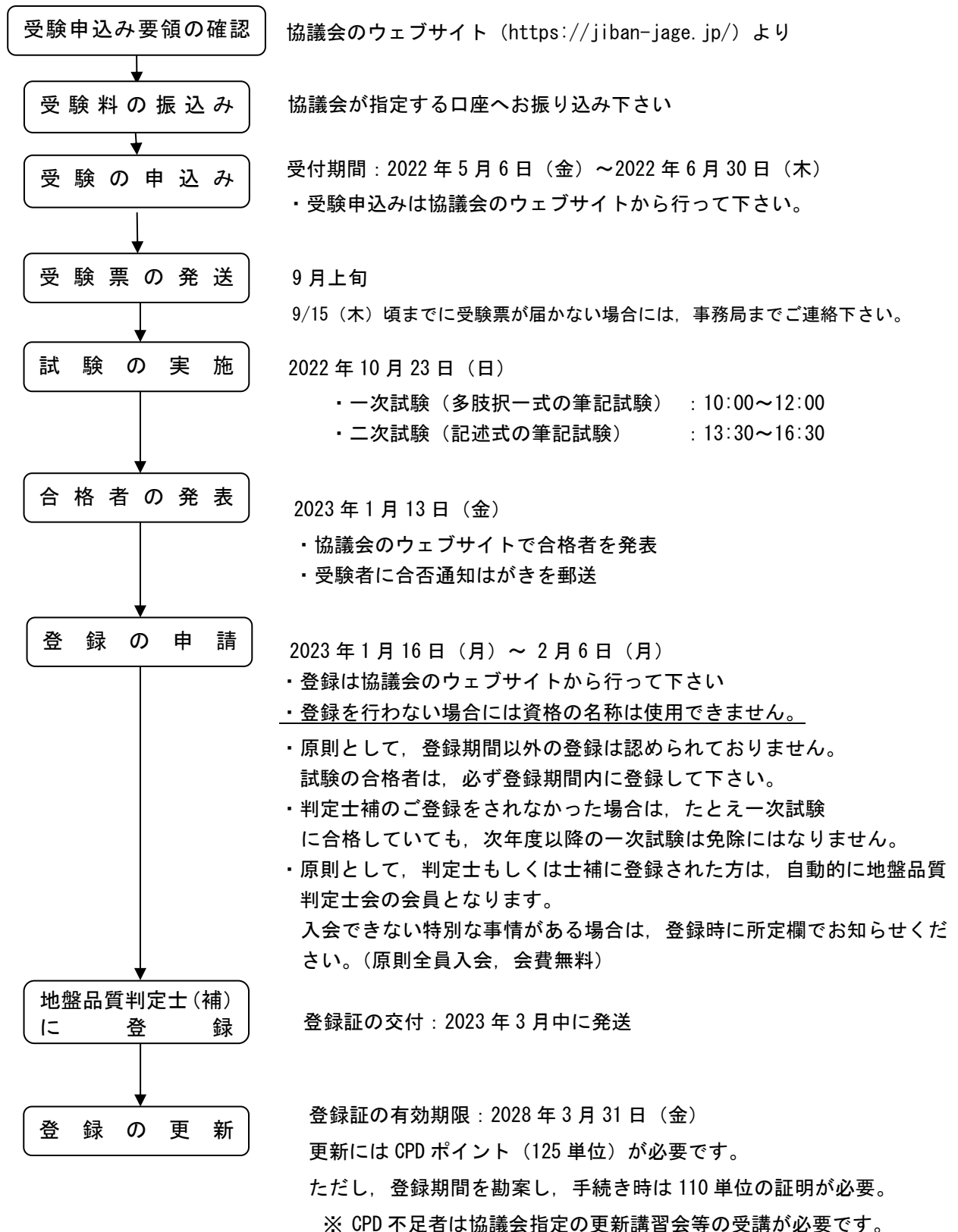
付図1 検定試験の仕組み

2022 年度検定試験の 2021 年度との相違点

付表 1 2021 年度検定試験の 2020 年度との相違点

年度	2021 年度	2022 年度
検定試験日	10/24(10 月 第 4 日曜)	10/23(10 月 第 4 日曜)
合格発表	1/14(金)	1/13(金)

2. 検定試験のスケジュール



付図2 検定試験のスケジュール

3. 受験資格と受験区分

(1) 受験資格

検定試験を受験するには、受験申込みを行う時点で付表2～6までの資格・講習会・職種の業務経歴のいずれかを有していることが必要となります。※赤字は2021年度から拡大した受験要件

【一次試験のみ受験時の受験要件】

付表2 一次試験のみ受験時の受験要件として認められる技術者資格

資格の名称	資格区分・分野等 (下記何れか)	試験の実施機関	資格の認定機関
技術士補	建設部門，応用理学部門	(公社)日本技術士会	文部科学省
土木施工管理技士	二級	(一財)全国建設研修センター	国土交通省
建築施工管理技士	二級	(一財)建設業振興基金	国土交通省
土木学会認定土木技術者	二級	(公社)土木学会	
住宅地盤技士	調査部門，設計施工部門	(NPO)住宅地盤品質協会	
地盤検査技士	二級	(一社)地盤保証検査協会	
地盤補強設計主任技士	—	(一社)全国住宅技術品質協会	
地盤補強施工管理主任技士	—		
地盤補強施工管理技士	—		

付表3 一次試験のみ受験時の受験要件を得るための協議会が主催もしくは指定する講習会

講習会の名称	講習会の実施機関
一次試験のみの受験要件を得るための講習会	地盤品質判定士協議会 (一社)地盤品質判定士会

※受講した年度に関係なく，過去の修了者でも有効

【一次試験と二次試験同時受験時の受験要件】

付表 4 一次試験と二次試験同時受験時の受験要件として認められる技術者資格

資格の名称	資格区分・分野等(下記何れか)	試験の実施機関	資格の認定機関
技術士	建設部門：土質及び基礎 応用理学部門：地質， 地球物理及び地球化学	(公社)日本技術士会	文部科学省
建築士	一級	(公財)建築技術教育普及センター	国土交通省
	二級，木造		都道府県
不動産鑑定士	－	国土交通省	
土木施工管理技士	一級	(一財)全国建設研修センター	国土交通省
建築施工管理技士	一級	(一財)建設業振興基金	国土交通省
土木学会認定 土木技術者	特別上級・上級・ 一級(資格分野：地盤・基礎)	(公社)土木学会	
R C C M	地質部門，土質及び基礎部門	(一社)建設コンサルタント協会	
地質調査技士	現場調査部門，現場技術・管理部門， 土壌地下水汚染部門	(一社)全国地質調査業協会連合会	
住宅地盤主任技士	調査部門，設計施工部門	(NPO)住宅地盤品質協会	
地盤検査技士	一級	(一社)地盤保証検査協会	
宅地地盤調査主任	－	(一社)全国住宅技術品質協会	

付表 5 一次試験と二次試験同時受験時の受験要件を得るための協議会が主催もしくは指定する講習会

講習会の名称	講習会の実施機関
受験要件を得るための講習会 ※1	地盤品質判定士協議会
宅地造成技術講習 (修了認定者)	国土交通省 (一財) 全国建設研修センター

※1 現在は実施していない

※受講した年度に関係なく、過去の修了者でも有効

付表 6 一次試験と二次試験同時受験時の受験要件として協議会が認める職種と業務経歴

職 種	必要な業務経歴
行政職	建築・宅地・防災に関わる業務を3年以上担当した行政職（国，地方自治体，独立行政法人など）
教育・研究職	建築・土木・地質に関する学科（大学，高等専門学校など）を3年以上担当した教育・研究職

【二次試験のみ受験時の受験要件】

付表 7 二次試験のみ受験時の受験要件として認められる技術者資格

資格の名称	資格の認定機関 〔試験の実施機関〕	付帯要件
地盤品質判定士補 (一次試験と二次試験同時受験の 受験要件による一次試験合格者)	地盤品質判定士協議会	登録期間中
地盤品質判定士補 (一次試験のみ受験の受験要件に よる一次試験合格者：第3から始 まる登録番号の者)	地盤品質判定士協議会	登録後3年間の実務経験（業務経歴）を経た者， または登録後に付表4～6に示す一次試験と二次試 験同時受験の受験要件を得た者

(2) 受験区分

付表 8 に示すような 3 つの受験区分があります。区分を 1 つ選択して下さい。なお、二次試験のみを受験するためには、地盤品質判定士補に登録している必要があります。

付表 8 受験区分

受験区分	受験要件（受験に必要な資格等）
一次試験のみ受験	付表 2, 3 の資格, 講習会
一次試験と二次試験の両方を受験	付表 4～6 の資格, 講習会, 業務経歴
二次試験のみ受験	付表 7 の地盤品質判定士補

4. 受験申込みの手続き

受験申込み受付期間：2022年5月6日（金）～2022年6月30日（木）

（１）受験申込みの方法

受験申込みは、協議会のウェブサイト（<https://jiban-jage.jp/>）の2022年度地盤品質判定士検定試験受験申込ページから行って下さい。

申込み入力手続き方法のマニュアルも協議会ウェブサイトからダウンロードしていただけます。

（２）受験申込み手続きで添付が必要な画像データ

受験申込み手続きの際に、添付が必要な画像データは、付表9に示す3点です。入力前に準備して下さい。

付表9 受験申込み手続きで添付が必要な画像データ

添付資料	項目	形式	添付数
1	顔写真	JPEG ファイル 2MB 以下	1 点
2	受験要件の資格証（付表 2, 4）	JPEG ファイル 2MB 以下	いずれか 1 点
	受験要件の講習会受講証明書（付表 3, 5）	JPEG ファイル 2MB 以下	
	受験要件の業務経歴（付表 6）	JPEG ファイル 2MB 以下	
	地盤品質判定士補の登録証 （第 2 から始まる登録番号の者）	JPEG ファイル 2MB 以下	
3	受験料振込み取扱票	JPEG ファイル 2MB 以下	1 点

（添付資料 1）顔写真の画像データ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 点

＊ 試験会場での本人確認用、合格時には、登録証カードに使用させていただきます。

2022 年 4 月 1 日以降に撮影（上半身正面（両肩含む）・無帽背影なしの鮮明なカラー写真）した画像ファイル写真画像

推奨サイズ 幅：295pixel（25mm）天地：354pixel（30mm）解像度：300～350pixel/inch

（添付資料 2）受験要件の資格証（有効期限内の登録証もしくは登録証明書）の画像データ… 1 点

＊ 受験に必要な資格（付表 2, 4）を直接証明できる登録証（氏名と資格の名称、必要に応じて資格の分野・選択科目等が確認できる書類）の画像ファイル、もしくは受験に必要な講習会の受講証明書（付表 3, 5）、もしくは受験に必要な業務経歴（付表 6）について必要事項を記載した業務経歴書の画像ファイル

技術士の場合は登録証には選択科目の記載がないので、登録証ではなく登録証明書を添付して下さい。

二次試験のみ受験の方で、第 2 から始まる登録番号の方は、地盤品質判定士補の登録証の画像を添付してください。

第 3 から始まる登録番号の方は、二次試験を受験することが認められている受験要件の資格証を添付してください。

（添付資料 3）受験料振込み取扱票の画像データ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 点

＊ 振込日、振込銀行及び支店名、振込口座名義（カタカナ表記）、振込金額が分かる書類（振込み取扱票、振込み用紙、インターネットバンキング振込記録（画面のスクリーンショットでも可）、等）の電子ファイルを作成して下さい。

(3) 受験料

1) 受験料

受験料は、受験区分で異なります。付表 10 で確認して下さい。

付表 10 受験区分と受験料

受験区分	受験料
一次試験のみ受験	10,000 円 (税込)
一次試験と二次試験の両方を受験	17,000 円 (税込)
二次試験のみ受験	13,000 円 (税込)

2016 年度より変更

2) 振込み先

受験料は、協議会が指定する口座（付表 11 参照）へ、お振り込み下さい。

付表 11 振込み先

銀行名 支店名	口 座
みずほ銀行 駒込支店 (コマコメ)	普通預金 1203950 地盤品質判定士協議会 ジバンピンツハンテイシキョウギカイ

3) 振込み手続きについて

- ① 振込み手続きの際、振込み依頼人名は受験者氏名で記入（入力）して下さい。
なお、事情により振込み依頼人名が受験者名と異なる場合、事務局へご連絡ください。
ご連絡がない場合、受験者のご入金の照合ができません。
- ② 振込み手続きは 1 名毎を原則としますが、ご所属で一括でのお支払いを希望される場合は事務局（jage@jiban.or.jp）まで下記の内容をメールでお知らせください。
振込名義人名、振込料金、出願者名と受験区分
(例：(株)〇〇、23,000 円、出願者 1 地盤太郎・一次のみ受験、出願者 2 地盤花子・二次のみ受験)
- ③ 送金手数料は受験者側のご負担でお願いします。
- ④ 受験料の納付は、原則として現金での取扱をいたしません。
- ⑤ 受領した受験料は、原則としてご返金いたしませんのでご了承願います。
- ⑥ 受領した受験料の領収書は、受験料振込み取扱票の控えをもって替えさせていただきますのでご了承願います。
- ⑦ 受験料は、受験区分によって異なりますので、確認の上、お振り込み下さい。

5. 検定試験の内容

試験は 10 時～12 時（120 分）の一次試験と 13 時 30 分～16 時 30 分（180 分）の二次試験の 2 段階で行います。一次試験は多肢択一式の筆記試験で、二次試験は記述式の筆記試験です。

（１）一次試験

＜多肢択一式の筆記試験＞

一次試験は、地盤の評価（品質の判定）に必要な基礎的な知識とその応用力を有することを確認する目的で実施します。

多肢択一のマークシート式で、全体で 50 問を出題します。

試験問題は、技術者倫理、宅地の造成・土砂災害に関わる法制度、地質・地形・地盤の調査・土砂災害、住宅等（小規模建築物）の基礎、地盤の液状化、盛土・切土と擁壁の安定性、地盤改良、の 7 区分とします。

配点は 100 点満点とし、各問題の区分と内容の目安は以下とします。

付表 1 2 一次試験問題の区分と内容の目安

問題の区分	内容（*1）
技術者倫理	技術者の行動規範
宅地の造成， 土砂災害に関わる法制度	宅地の造成・取引と法制度 盛土・切土，擁壁，締固め 土砂災害防止法等の法令
地質・地形・地盤の調査， 土砂災害	地質と地質調査，地形と地形判読 地盤調査 サンプリングと地盤材料試験 地すべり，土石流，がけ崩れ
住宅等（小規模建築物）の基礎	直接基礎，杭基礎 基礎の支持力と沈下
地盤の液状化	地震と地震動 液状化のメカニズム 液状化の予測と判定方法
盛土・切土と擁壁の安定性	擁壁の支持力と安定・土圧 斜面安定，安定解析の方法 盛土による沈下の予測方法
地盤改良	液状化対策 沈下対策 すべり対策

*1：項目列挙です。記された範囲に限定されるものではありません。

(2) 二次試験

＜記述式の筆記試験＞

二次試験の内容は、地盤の評価（品質の判定）を適正にできる十分な経験と技術力を有することを確認する目的で実施します。

試験の区分は、①地盤の液状化 ②基礎の支持力と沈下 ③盛土・切土と擁壁の安定性 の3区分で、区分毎に設問1題、合計3題、とします。また、各設問内には3つの小問を設けます。

記述式の筆記試験では、1題につき合計で1,000字程度（図表は別途）の設問を3題出題します。

配点は設問1題につき50点、計150点満点とします。なお、小問ごとの図表記載欄に【任意】もしくは【必須】と明示し、【必須】と明示された小問では、解答した図表が採点上重視されます。【任意】と明示された小問では、記載した図表がプラス点になることはあっても、図表を記載しないことでマイナス点となることはありません。

(3) 合否の判定基準と登録

一次試験（多肢択一式）では、地盤の品質の評価に必要となる基礎的な知識と経験を有しているかどうかを確認します。

二次試験（記述式）では、地盤の品質を適正に評価できる専門的知識と十分な経験及び高度な技術力を有しているかどうかを確認します。

地盤品質判定士を名乗るには、二次試験に、地盤品質判定士補を名乗るには、一次試験にそれぞれ合格した上で登録していることが必要です。なお、地盤品質判定士補の方が二次試験に合格して地盤品質判定士に登録すると、地盤品質判定士補の登録は末梢されます。

6. 試験当日の留意事項

- (1) 受験者は、一次試験開始の20分前（9時40分）、二次試験開始の20分前（13時10分）までに試験場に到着し、受験番号を受験票で確認して、指定の試験室へ入室して下さい。
- (2) いずれの試験も試験開始後30分、試験終了前30分の退出はできません。交通機関遅延等のやむを得ない事情による場合には、試験開始後30分までは入室を認めますので、試験監督員の指示に従って下さい。
- (3) 受験票は、試験当日必ず持参し、試験監督員の指示に従い提示して下さい。万が一、受験票を紛失または忘れた場合は、試験事務局にお問い合わせ下さい。
- (4) 試験当日は、次の携行品を持参して下さい。なお、試験時間中は、下記の携行品以外は机の上に置いてはいけません。

受験票・HB以上の鉛筆またはシャープペンシル・消しゴム・定規（直・三角・他）・時計（通信機能のないもの）・ハンカチ・ティッシュ・目薬・ペットボトル（水筒は不可、ボトルケースはなし）

- (5) 携帯電話やアラーム音等の音の出る機器は、試験場に入室する前に必ず設定を解除し、電源を切ってください。試験時間中は、鞆等に入れて下さい。ポケット等、身に着けることも禁止とします。
- (6) 試験当日は、各試験会場の試験監督員の指示に従ってください。なお、次の行為を行った場合、不正行為として即刻試験を中止させ退場させる場合があります。
- ・試験時間中に、携帯電話や時計等の音（着信、時報、アラーム、振動音等）を鳴らすこと
 - ・試験監督員の指示に従わないこと
 - ・試験進行の妨げとなる行為
 - ・他の受験者の迷惑となる行為
 - ・カンニング等の試験の公平性を損なう行為

7. 検定試験の日時と受験地

(1) 日 時

- ・一次試験（多肢択一式の筆記試験）

2022 年 10 月 23 日（日） 10 時 00 分～12 時 00 分

- ・二次試験（記述式の筆記試験）

2022 年 10 月 23 日（日） 13 時 30 分～16 時 30 分

(2) 受験地

札幌・仙台・東京・大阪・福岡

※今年度の会場はまだ確定しておりません。

※各会場のキャンパスマップは、9 月頃に協議会 Web ページに掲載予定です。

- ・前年度の試験会場

札幌会場：TKP 札幌ンファレンスセンター

仙台会場：スタンダード会議室 仙台あおば通店

東京会場：LMJ 東京研修センター

大阪会場：日本研修センター心斎橋

福岡会場：リファレンス駅東ビル

※実施会場数、実施会場は変更する可能性があります。

8. 合格者の発表

合格発表日 2023 年 1 月 13 日（金）

協議会ウェブサイトにて、合格者の受験番号を掲載します。

受験者には、「合否通知」はがきを同日郵便にて発送しますので、お手元に届くのは数日後となります。

9. 地盤品質判定士もしくは地盤品質判定士補の登録手続き

「地盤品質判定士」もしくは「地盤品質判定士補」となるには、検定試験に合格した後、協議会が管理する登録簿に登録されることが必要です。

登録手続きは、協議会ウェブサイトに掲載する「資格登録申請について」に従って登録手数料を振込後に協議会ウェブサイト上で行って下さい。登録料は、地盤品質判定士が 13,000 円(税込)、地盤品質判定士補が 10,000 円(税込)です。登録が完了後、「地盤品質判定士」もしくは「地盤品質判定士補」の登録証(証書とカード)を交付します。2022 年度登録者の登録証の発送は 2023 年 3 月中を予定しています。

登録者は、地盤品質判定士等の氏名、所属機関名、登録番号、登録証の有効期限等について、協議会のウェブサイトに掲載します。ただし、氏名、所属機関名の掲載を本人が希望しない場合には非公開としますので申請時に申出て下さい。

登録申請期間は、2023 年 1 月 16 日(月)～2 月 6 日(月)です。

また、登録後に虚偽または不正の事実が確認された場合、資格は取り消されます。

※原則として、登録期間以外の登録は認められておりません。試験の合格者は、必ず登録期間内に登録して下さい。

※判定士補のご登録をされなかった場合は、たとえ一次試験に合格していても、次年度以降の一次試験は免除にはなりません。

なお、2015 年 2 月 2 日の理事会で地盤品質判定士会（以降、判定士会と略記）の設置が承認されました。

判定士会は、住宅及び宅地の防災及び国民の安全に貢献するために、会員の技術の研鑽とモラルの向上、ならびに社会への啓発を図ることを目的に、協議会内に設置した判定士会運営幹事会を中心に、協議会の関連委員会等と協力しながら主に下記の事業や活動を行います。

- (1) 地盤品質判定士等の知識と技術力の維持向上に必要な施策の実施
- (2) 地盤品質判定士等の業務と活用などの推進
- (3) その他、目的達成に関して必要な事項

原則として、判定士もしくは士補に登録された方は、自動的に地盤品質判定士会の会員となります。当面は会費無料の予定です。入会できない特別な事情がある場合は、登録時に所定欄でお知らせください。

10. 登録更新

地盤品質判定士ならびに地盤品質判定士補の登録証の有効期限は、検定試験に合格した年の年度末から 5 年後の年度末迄です。従って、2022 年度の検定試験に合格して登録された方の有効期限は 2028 年 3 月末となります。

地盤品質判定士等の有資格者は、新しい知識と技術を継続的に身に着けることを条件として、5 年毎に所定の登録更新手続きを行うことによって登録更新することができます。登録更新料は、地盤品質判定士が 13,000 円（税込）、地盤品質判定士補が 10,000 円（税込）の予定です。

地盤品質判定士等の登録更新には、自己研鑽（継続教育）を実施して、CPD ポイントを合計 125 単位取得しておく必要があります。

ただし、登録更新時は 5 年未満であり、登録期間を勘案し、手続き時は 110 単位の証明を必要とする。

なお、登録有効期限迄に所定の CPD 単位を取得できないで登録更新を希望する場合には、協議会が指定する更新講習会等を受講・修了する必要があります。

11. その他

（1）受験申込み後、所属機関（会社等）、自宅住所、氏名に変更があった場合は、協議会の事務局まで連絡して下さい。

（2）受験票は、2022 年 9 月上旬に郵送します。

受験票が 9 月 15 日（木）までに届かない場合は、協議会の事務局まで連絡して下さい。

jage3@jiban.or.jp

（3）入力終了後の受験申込み確認画面は、本人控え用に、必ずコピーして保管しておいて下さい。

（4）主な参考図書例を付表 1 1，付表 1 2 に示します。必ずしも出題範囲を示すものではありませんが参考にご活用下さい。

付表 1 3 主な参考図書例の紹介

書籍名	著者・編者名	発行所	発行年月
地盤品質判定士倫理綱領及び同解説	地盤品質判定士協議会	地盤品質判定士協議会 Web-site	2014. 2
宅地地盤調査マニュアル 2014	全国地質調査業協会連合会	全国地質調査業協会連合会	2014. 4
宅地防災マニュアルの解説	宅地防災研究会	ぎょうせい	2007. 12
同上 (第三次改訂版)	同上	同上	2022. 2
地盤調査の方法と解説	地盤工学会	地盤工学会	2013. 3
建築基礎構造設計指針	日本建築学会	日本建築学会	2019. 11
小規模建築物基礎設計指針	日本建築学会	日本建築学会	2008. 2
建築基礎設計のための地盤調査計画指針	日本建築学会	日本建築学会	2009. 11
建築技術者のためのガイドブック	日本建築学会	日本建築学会	2014. 4
小規模建築物を対象とした地盤・基礎 (第2版)			更新情報
土砂災害防止法の概要	国土交通省	国土交通省 Web-site	2019. 12
大規模盛土造成地の滑動崩落対策推進ガイド ライン及び同解説について	国土交通省	国土交通省 Web-site	2015. 5
宅地擁壁老朽化判定マニュアル (案)	国土交通省	国土交通省 Web-site	2022. 2. 10
宅地の液化化被害可能性判定に係る技術指 針	国土交通省	国土交通省 Web-site	確認 2013. 4
被災宅地災害復旧技術マニュアル (熊本地震 対応)	国土交通省	国土交通省 Web-site	2017. 3
2015年版 建築物の構造関係技術基準解説書	国土交通省住宅局建築指	全国官報販売協同組合	2015. 5
同上 <2020年版>	導課・他監修 同上	同上	2020. 10
改訂版 建築物のための改良地盤の設計及び 品質管理指針	国土交通省国土技術政策 総合研究所、国立研究開発 法人建築研究所監修	日本建築センター ベターリビング	2012. 11
同上 <2018年版>			2018. 11

付表 1 4 その他の参考図書例の紹介

書籍名	著者・編者名	発行所	発行年月
地盤工学用語辞典	地盤工学会	地盤工学会	2006. 3
君ならどうする？（建設技術者のための倫理問題）	地盤工学会	地盤工学会	2003. 6
土木技術者の倫理を考える 3.11 と土木の原点への回帰	土木学会	土木学会	2016. 3
役立つ!!地盤リスクの知識	地盤工学会	地盤工学会	2013. 4
宅地造成等規制法の解説	宅地造成等規制法研究会	ぎょうせい	2007. 5
宅地耐震設計マニュアル	UR 都市機構	－（非売品）	2008. 4
地盤調査 基本と手引き	地盤工学会	地盤工学会	2013. 9
ボーリングポケットブック第5版	全国地質調査業協会連合会	オーム社	2013. 9
地盤材料試験の方法と解説	地盤工学会	地盤工学会	2009.12
同 上 〔第一回改訂版〕	同上	同上	2020.12
土質試験 基本と手引き	地盤工学会	地盤工学会	2010. 3
改訂3版 地質調査要領	全国地質調査業協会連合会	経済調査会	2015. 9
住宅地盤調査の基礎と実務	住宅地盤品質協会	住宅地盤品質協会	2014. 9
地盤改良の調査・設計と施工 一戸建て住宅から人工島まで	地盤工学会	地盤工学会	2013. 4
実務者のための戸建て住宅の地盤改良・補強工法 考え方から適用まで	日本材料学会	オーム社	2010. 2
液状化から戸建て住宅を守るための手引き	地盤工学会関東支部	地盤工学会関東支部	2013. 5
入門シリーズ 35：地盤・耐震工学入門	地盤工学会	地盤工学会	2008. 7
地盤液状化の物理と評価・対策技術	吉見吉昭・福武毅芳	技報堂出版	2005.10
地震による液状化とその対策	関東地質調査業協会	オーム社	2012. 9
液状化対策工法	地盤工学会	地盤工学会	2004. 9
知っておきたい斜面のはなし-斜面と暮らす	土木学会	土木学会	2005.12
家族を守る斜面の知識	土木学会	土木学会	2009.10
日本ってどんな国 豪雨から国土を守る	全国地質調査業協会連合会	全国地質調査業協会連合会	2011. 5
道路土工 擁壁工指針	日本道路協会	日本道路協会	2012. 7
道路土工 軟弱対策工指針	日本道路協会	日本道路協会	2012. 8
地山補強土工法設計・施工マニュアル	地盤工学会	地盤工学会	2011. 9

注）出題範囲を上記の参考図書に限定しているものではありません。

検定試験に関するお問い合わせ先
協議会のウェブサイト (<https://jiban-jage.jp/>) をご覧下さい



地盤品質判定士協議会

〒112-0011 東京都文京区千石 4 丁目 38 番 2 号
(公益社団法人地盤工学会内)

TEL: 03-3946-8766 FAX: 03-3946-8678

E-mail : jage@jiban.or.jp

※お問合せはメールでご連絡ください。



(2022. 5. 19 版)